



## 2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月9日

上場会社名 シルバーエッグ・テクノロジー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3961 URL <https://www.silveregg.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) トーマス・アクイナス・フォーリー  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部長 (氏名) 山根 秀之 TEL 06 (6386) 1931  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月9日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	911	△0.6	187	7.8	182	5.6	179	136.1
2020年12月期第3四半期	917	26.9	174	165.7	172	163.6	76	105.1

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 185百万円 (150.7%) 2020年12月期第3四半期 73百万円 (159.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	60.50	60.37
2020年12月期第3四半期	25.73	25.67

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	1,249	1,188	95.1
2020年12月期	1,236	1,002	81.1

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 1,188百万円 2020年12月期 1,002百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,236	0.3	144	△34.4	144	△34.0	127	27.7	43.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	2,996,942株	2020年12月期	2,996,942株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	42株	2020年12月期	42株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	2,996,900株	2020年12月期3Q	2,954,842株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(追加情報) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(四半期連結損益計算書関係) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が日本国内でも浸透し始め、緊急事態宣言が解除されたことを受けて徐々に経済活動の制限が緩和されようとしている状況ではありますが、変異株による第6波への懸念など、依然として先行きが不透明な市場環境下にあります。

一方で、当社の事業が関連するBtoC-EC（消費者向け電子商取引）市場規模は、2020年は19.3兆円（前年比0.4%減）とほぼ横ばいになりましたが、物販系分野においては12.2兆円（前年比21.7%増）と大幅に拡大し、また同分野におけるEC化率は8.1%（前年比1.3ポイント増）になっています（出典：経済産業省、令和2年度 産業経済研究委託事業（電子商取引に関する市場調査）報告書）。

また、2021年8月度のネットショッピングを利用した世帯（2人以上の世帯）の割合は51.5%（前年比1.5ポイント増）と増加しており、引き続き、電子商取引のさらなる拡大が見込まれております（出典：総務省、家計消費状況調査 ネットショッピングの状況について（二人以上の世帯）－2021年（令和3年）8月分結果－）。

このような状況の中、当社は「AI（人工知能）クラウド型サービスで、あらゆるタッチポイントにおけるリアルタイム・パーソナライゼーションの実現」をミッションに掲げ、ECサイト運営企業、ウェブサービス企業向けに、AIを用いたマーケティング支援ツールである「リアルタイム・レコメンド・サービス」を提供してまいりました。

営業活動につきましては、主力商品である「アイジェント・レコメンダー」及び「レコガゾウ」では、特に既存顧客に対する売上が堅調に推移した影響により、営業収益が904,689千円（前年同期比0.1%増）となりました。この売上は、顧客が属している業界の市場環境に影響を受けており、ホビー・エンターテインメント業界向け90,138千円（同25.1%増）及び総合通販業界向け90,854千円（同19.5%増）と、好調がみられます。一方、前期において新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言による巣ごもり需要で大きく売上を伸ばしていた業界であるアパレル業界及び人材業界については、落ちつきを見せていることから、若干減少しております。

また、レコメンド広告サービス「ホットビュー」については、ユーザー行動に係る追跡機能等の国際的な規制強化を見据え営業活動を抑制していることから、同サービスの営業収益は5,473千円（同62.4%減）となりました。

なお、当期においては、パートナー連携の強化を図り、これまで連携できていなかったECプラットフォーム各社との連携が可能となりました。今後、公式アプリ化を進め、新規受注につなげていく予定です。さらに、2021年6月30日に新しいAIパーソナライゼーション・プラットフォームである「アイジェント・エックス」をローンチし、当第3四半期連結会計期間より販売を開始しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益につきましては911,844千円（同0.6%減）、営業利益は187,876千円（同7.8%増）、経常利益は182,626千円（同5.6%増）となりました。営業費用のうち、人件費においては、前年同期から人員増強を行った結果、増加傾向にあります。将来的な成長を行うために必要な採用として当初計画に盛り込まれております。一方で、人材獲得の競争激化により、当初の採用計画の実施は年度後半への対応となり、第4四半期連結会計期間以降に発生する見込みとなっております。その他の営業費用では、通信費の圧縮や外部コンサルティング業者への支払費用の見直しなどコスト圧縮に努めました。今後、第4四半期連結会計期間においては、来期以降も続くと思われる新型コロナウイルス感染症への順応を視野に、更なる販売強化に向けた施策の実行や従業員の働き方改革にも注力してまいります。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は179,489千円（同136.1%増）となりました。これは、過年度に減損損失を計上してございました当社及び当社子会社保有の投資有価証券について、資産の効率化及び財務体質の強化を図るため、当該投資有価証券を売却いたしましたことに伴い、特別利益として投資有価証券売却益53,191千円を計上したことによるものであります。

なお、当社グループは、レコメンデーションサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13,049千円増加し、1,249,444千円となりました。主な内訳は、売掛金の回収による減少(22,100千円)及び繰延税金資産の取崩による投資その他の資産のその他の減少(16,818千円)となる一方で、キャッシュの獲得による現金及び預金の増加(20,934千円)、未収還付法人税等の計上等による流動資産のその他の増加(16,995千円)及び「アイジェント・エックス」等の資産化による無形固定資産の増加(16,807千円)によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ172,456千円減少し、61,118千円となりました。主な内訳は、未払金の支払による減少(24,921千円)、未払法人税等の支払による減少(91,777千円)及び賞与引当金の支払による減少(21,346千円)によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ185,505千円増加し、1,188,326千円となりました。主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益179,489千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月12日に公表いたしました連結業績予想を変更し、2021年8月5日付「2021年12月期第2四半期及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	886,526	907,460
売掛金	209,014	186,914
その他	23,753	40,749
貸倒引当金	△286	△257
流動資産合計	1,119,008	1,134,865
固定資産		
有形固定資産	27,408	24,220
無形固定資産	53,145	69,952
投資その他の資産		
その他	37,697	20,878
貸倒引当金	△863	△472
投資その他の資産合計	36,833	20,405
固定資産合計	117,387	114,578
資産合計	1,236,395	1,249,444
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	60,455	35,533
未払法人税等	91,777	-
賞与引当金	21,346	-
役員賞与引当金	3,984	-
その他	56,012	25,584
流動負債合計	233,574	61,118
負債合計	233,574	61,118
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	285,272	285,272
資本剰余金	270,035	270,035
利益剰余金	457,218	636,708
自己株式	△134	△134
株主資本合計	1,012,392	1,191,882
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△9,571	△3,556
その他の包括利益累計額合計	△9,571	△3,556
純資産合計	1,002,820	1,188,326
負債純資産合計	1,236,395	1,249,444

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
営業収益	917,564	911,844
営業費用	743,306	723,967
営業利益	174,258	187,876
営業外収益		
受取利息	7	8
貸倒引当金戻入額	-	390
営業外収益合計	7	399
営業外費用		
為替差損	424	5,649
貸倒引当金繰入額	863	-
営業外費用合計	1,287	5,649
経常利益	172,977	182,626
特別利益		
投資有価証券売却益	-	53,191
特別利益合計	-	53,191
特別損失		
固定資産除却損	0	-
投資有価証券評価損	22,913	-
特別損失合計	22,913	-
税金等調整前四半期純利益	150,064	235,817
法人税、住民税及び事業税	84,884	39,673
法人税等調整額	△10,840	16,654
法人税等合計	74,044	56,327
四半期純利益	76,019	179,489
親会社株主に帰属する四半期純利益	76,019	179,489

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	76,019	179,489
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,029	6,015
その他の包括利益合計	△2,029	6,015
四半期包括利益	73,990	185,505
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73,990	185,505
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

新型コロナウイルス感染症については収束時期を正確に見通すことは現時点において困難ではありますが、当第3四半期連結会計期間末において重要な影響は生じておりません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

(投資有価証券売却益)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年9月30日)

当社及び当社の連結子会社が所有しておりました投資有価証券のZeroth SPC社が運営するAI特化スタートアップアクセラレーターファンドについて、過年度に減損損失を計上しておりましたことから、資産の効率化及び財務体質の強化を図るため、当該投資有価証券を売却し、特別利益に53,191千円の投資有価証券売却益を計上しております。

(投資有価証券評価損)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

当社の連結子会社Silver Egg Technology Asia Limitedが所有しておりました投資有価証券のZeroth SPC社(以下、Zeroth社)が運営するAI特化スタートアップアクセラレーターファンドへの運用開始分について、当社(親会社)へ2020年4月に移管を行い、ファンドの運営管理並びに監視体制の強化を図ってまいりましたが、新型コロナウイルスの更なる感染症拡大の影響に加え、Zeroth社の運営責任者ならびにファンドマネージャーが不在となる等の運営環境及び管理体制が急変いたしました。これにより、当社として投資の価値を適切に把握することが、困難な状況に至りましたため、保守的な観点から減損損失処理を行うことが妥当と判断し、特別損失に22,913千円の投資有価証券評価損を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

当社は、2020年3月2日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬制度の導入を決議し、2020年3月27日開催の第22期定時株主総会において承認可決されました。2020年4月24日付で譲渡制限付株式報酬として新株の発行26,042株を行っております。この結果、資本金及び資本準備金がそれぞれ9,375千円増加しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、レコメンデーションサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重大な後発事象)

該当事項はありません。